



季節の花
— 梅 —

統計茨城 3月号 目次

1 事故分析と事故防止の直結 菅井憲郎…… 1	7 電力 ……………17
2 「昭和50年国勢調査」を省りみて…………… 2	8 運 輸……………17
3 現代っ子は足長でむし歯 人口学事統計係… 4	9 家 計……………18
4 われらトーケイマン 庶務係… 5	10 物 価……………20
企画調整係… 6	11 交通 事故……………21
5 指 標	12 火 災……………21
1 主要指標 ……………8	6 行政資料案内…………… 22
2 人 口……………10	統計ニュース…………… 23
3 労 働……………12	
4 農 業……………14	
5 鉱 工 業……………15	
6 金 融……………16	

3月の主な行事

利用上の注意

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入 | 2 「年」は暦年, 「年度」は4月 |
| 3 記号 | から翌年の3月まで |
| — 零または該当数字のないもの | r 訂正数字 |
| 0 該当数字が掲載単位未満のもの | △ 減少または出超 |
| … 不詳のもの | x 秘密保持のため掲載をひかえたもの |
| p 暫定数字 | |

表紙のメッシュは昭和49年茨城県農業基本調査結果から
市町村別の総人口に対する農業就業者の割合を表したもの

事故分析と事故防止の直結

菅井 憲 郎
県警察本部
 交通企画課長



大学時代に統計学の講座をとったのが統計とのつき合いの始まりであった。私は、大学では経済学を専攻しており統計学のほか線形計画などと言う知る人ぞ知る数学も一応は学んだ。今から考えれば本当に基礎的なものであったが、この時に学んだ

ものが現在の仕事の基本において役立っている。

さらにもう一度、統計の基礎を学ぶ機会があった。それは、警察庁での教養としてコンピューターについての研修を受け、コンピューターの動かし方を学んだ。

現在、交通事故分析という業務を担当してみると、私の受けてきた統計に関する教養が実は基礎の基礎にしかすぎないことを知った。

統計は、それが単に数字のら列である限りにおいては何の意味のないものである。従って本当の統計、分析とは、数字のら列や固りに意味を持たせることであり、また、意味のある数字を出すことである。交通事故分析においては、年間1万件以上の交通事故について120項目にのぼるチェックをしてデータ化している。これらのデータを縦横に分析して交通事故防止対策に反映させなければならないのであるが、最近でもガード・レール等交通安全施設の設置、大量動員による取締りの実施、交通規制の実施等に際して貢献してきた。今後は、より一層の研究を重ね、交通事故分析を“活きている分析”にしていかなければならない。

交通事故分析に期待するものが三つある。

その一つは、事故防止対策の効果測定である。

その二つは、交通事故の発生予告である。

そして、その三つは、事故防止対策の選択決定である。

すなわち、交通事故防止対策には、取締り、安全教育、広報、交通規制、運転者管理、道路構造の改良、自動車構造の改良等数多くの施策がある。これらの施策によりどのように事故を防止することができるのか。それその対策の実施方法、内容、期間によりその事故防止効果を測定することができればと思うのである。現在は

取締りを強力に実施すれば事故は減少するのであろうことは知っていても、どれだけ取締りすればどれだけ減少するのかは予測できない。広報でも規制でも同様に、対策とその効果の詳細な相関関係は把握できていないのである。

第二の期待は、交通事故の発生予告である。今までに発生した事故のデータをもとに、道路、時間、原因などごとに翌日の事故の発生がシュミレーションであらかじめ知ることができれば、マスコミを通じて毎日「明日の事故予報」ができるのではないかと思うのである。そうならば、天気予報を聞いて外出するときに、雨具を用意するように、事故予報を聞いて外出するときに歩行者や車に気をつけるようになり、事故防止に効果があるのではないだろうか。天気予報と異なり交通事故は、予報より少なくなる分には多少はずれたとしても文句を言う者もいないと思うのであるがどうであろうか。

第三は、事故防止対策の選択、決定であるが、これは最も有効であり、かつ、困難なものである。この期待が適えられるためには、事故防止対策の効果に関するデータや事故の発生予告に関するデータも正確にコンピューターに入れておかなければならない。そのうえに、警察官の数、予算等に関するデータも必要であろうからこれは期待というよりもむしろ“夢”である。どのような対策をどのように組み合わせればどれだけ事故が減少できるのか予測できれば、限られた人員と予算で最も効果的に事故を防止することができるのである。この最も実現困難な期待＝夢が、実は、現在最も必要としていることなのである。

私は、警察職員に対して「汝、豚になることなかれ！」と言っている。警察で扱う交通事故の内に、将来の事故防止対策が潜んでいる。それを外に出し明らかにするのが事故分析でなくてはならない。交通事故の一件一件は、交通事故防止にとって貴重な教材である。真珠のようなものである。だから、その価値を知らなくてはならない。私達分析業務に従事する者にとって最も大事なことは、分析を活かすことではあるが、それと同時に、分析の題材となる“現実”を正確に認識することであると思うのである。

「昭和50年国勢調査」を省りみて

その1

去る11月22日、水戸市「水府荘」において、「昭和50年国勢調査」の反省座談会が開催されました。

あいにくの雨の中、県内5市町村から各1名ずつ5名の調査員の方々、県統計課からは統計課長はじめ職員が出席し、盛んに意見が交換されました。

出席者	
調査員	日立市 小島文夫
	大子町 川島美雄
	神栖町 大槻俊雄
	荃崎村 飯泉努
	総和町 中野美智子
県統計課	統計課長 野口貢
	課長補佐 猿田行雄
	人口学事 木口光男
	統計係長
主事	川上忠行
主事	秋山桂一

◇始めに

野口課長

10月1日に実施された国勢調査へのご協力を感謝したい。



今年(11月)6日、すべての審査を終了し、総理府統計局に提出した。近県に比べ早い仕上がりであったのも皆様のおかげであり、感謝している。

本日は、国勢調査を実施した中で感じたご意見、困ったこと、嬉しかったことなどについてお話をうかがい、次回の国勢調査はもとより、他の様々な調査の参考にし

たい。

忌憚のないご意見をうけたまわりたい。

猿田課長補佐

本日の国勢調査反省座談会は、今回行われた国勢調査を実施するにあたっての問題点、感想、ご意見等について、自由に発言してもらうためのものである。



今日集まっていたのは、工、漁業、都市地区を代表して日立市、農業地区を代表して大子町、工、農業、開発地区を代表して神栖町、農業、学園都市地区を代表して荃崎村、工業団地地区を代表して総和町の各調査員の方々

である。

よろしくお願ひしたい。

◇調査員打合せ会について

司会(木口係長)

調査員打合せ会の運営方法、時間の長短、内容等についてはどうであったらうか。

神栖町

経験の長い調査員が多く、案外調査内容にくわしく、質問がなかった。初めての人も説明を真剣に聞き理解も良かった。

日立市

日立市の場合、調査員の約半数は市の吏員であった。自分の調査区の周囲の調査員は市の吏員であるし、聞いたところ他の調査区もそのような状況であった。いままでは、一般の市民の調査員も多かったのに今回はそうではない。

調査そのものは、おかげでスムーズであったが、一般の盛り上がりは非常に少なかったように思う。今まで約10回の国調経験があるが、その中でも非常に盛り上がりが高くなく、対象者に調査に対する関心がなかった。

荃崎村

時間については充分であった。初めての人も真剣に聞いていたが、実際に用紙をみると質問があった。それについては、説明して了解してもらった。

大子町

面積が広いので地区ごとに説明会を開いたが、説明がうまく、良く理解できた。

総和町

調査員は農業調査員中心に選出された。その他は一般から選出され、私は初めて従事した。

説明の内容そのものは理解できたが、調査区の境界については、もっと大きな地図で説明してほしい。

隣の調査区の人と実際に境界を歩いてみたが、境界をみとおして区切っている場合が多く、はっきりしていない。字の境なども現在ではわかりづらい。境界はできるだけ道路で区切してほしい。

司会

3,000分の1、5,000分の1程度の細かい地図ならよいと思う。

川上主事

部落などの関係で、必ずしも道路で区切るといいうのも問題がある。

日立市

その面では良く整備されている。境界は道路で区切られており、隣接の調査区と、少しの打合せで、完全にすることができる。

野口課長

開発進行中のところなどでは、新しい地図などもないであろうし、なかなかむずかしい。

神栖町

打合せ会の時に、両隣の調査員との意見の交換をして確かめあっておくことが必要であろう。そうすれば「目こぼれ」も防げるはずである。

大子町

調査の区域はほとんど固定しており、調査はやりやすい。

総和町

今までは畑で、ほとんど家のなかったような所もどんどん変わっているので、やりづらいわけである。

司会

両隣との意見の交換、調整などは必要だと思う。

◇新様式の調査票について

司会

印刷の色、大きさなどについて、何かありましたらお聞きしたい。

神栖町



若い人は良くやってくれるのだが、年をとった人たちは、エンピツのあとを良く消さなかったり、なかなか説明のとおり実行してくれない。説明にも限界があるので、何か良い方法があればよいのだが。説明様式の改善であるとか各人同じ濃度のエンピツを使えるようにするとか、何らかの改善はないだろうか。

司会

エンピツを全世帯に配付するのも不可能だが、市町村で独自に配付したところもあると聞いている。

今回の調査では、調査票の折れ、汚れなど調査票の取扱いが心配だった。

日立市

前は個表の扱いがわずらわしかったが、今回はそれがなくやりやすかった。

調査票を配付する際、調査票の「鉛筆書き」、「折らないで」という注意書きの個所に鉛筆で○印を打ってわたしたが、非常にスムーズにいった。

工業都市で若い人が多く、所帯が小さい。2調査区を担当したが、まとまっていてやりやすい。

一般に対するP・Rが悪く、関心が持たれてない。20歳台の若い人は、男女を問わず良くないが、年配の人たちは、慣れているせいか良く記入している。

担当した2調査区の1世帯当たり人員は、それぞれ2.61人、3.29人と少なく、若い人の1人住いが多い。その1人住まいの世帯に留守が多いのは閉口した。

野口課長

総理府統計局でも、「赤ちゃんとアパートを狙え」として、アパートの世帯には気をつけていた。単身世帯、共かせぎの多い若い世帯などは留守が多く、調査への理解にも問題が多いと心配していた。

P・Rについては、ずいぶんとやったつもりではいるのだが。

日立市

街中を見回しても、今回はポスターも少なく、市報でも小さく3回記事の掲載があったのみである。中間調査であるということや、予算等の都合で、P・Rは今回はやらなかったのでは、と思った。

P・Rが不足だと感じた。単身世帯、特に若い人の中で、「国勢調査とは何ですか。」との質問も受けた。年配の人は、調査に慣れている。

野口課長

農村部にはない、都市部の悩み、ご苦労があると思う。

日立市

夜は10時頃、朝は6時頃に行って、調査票をまとめた。

神栖町

P・Rについて、神栖町では文書で1回、自動車でも1週間流して歩いたが、効果が薄かった。古くからの町民はともかく、新しく来た、特に若い人に関心がない。調査員が一生懸命やっても、皆が関心を持ってくれない

しょうがない。

留守世帯について、ある世帯で、病人が出て家族全員が病院に行ってしまうていた。周囲の人にたずねても要領を得ず、いつ帰るかもわからなかった。

新しく来た人は、周囲の人に聞いてもわからない。留守家族の実態の把握はむずかしい。

◇調査にあたり困った事例

荃崎村

エンピツを使うように説明したが、エンピツがないのでボールペンで記入した例があった。これは別の用紙に書き直しておいたが、10戸程度に1本でもエンピツが配付されたら良いのだが。

日立市

いくら注意しても、ボールペンでの記入例はある。マジックでの記入例もある。(笑)

エンピツの配付ということを感じて痛切に感じる。

日立市には工場が乱立しているが、市役所で事業の種類について統一している。しかし、それを従業員に徹底させるための市役所から各工場への呼びかけが不足だった。

日製多賀工場は、事業の種類上は電気洗濯機製造となっている。しかしそこに勤務している人は扇風機製造と記入している。「違っている。」と言うと、「自分が作っているのは扇風機で、洗濯機は作っていない。」(笑)

市役所に企業体への呼びかけはどうしたかと問い合わせたが、不足だったかもしれないとの返事だった。県の方からも、そういう依頼については努力してほしい。

川上主事

ポスターなどは、各企業へ配付したのだが。

日立市

ポスター程度では若い人は見ない。

司会

社内報などを利用することも考えれば良かった。

日立市

前はそれをよくやったのだが、今回はちょっと不足だった。

神栖町

各家庭に調査票と一緒に配付した、国勢調査についてのお願いに掲載されている職業分類例の項目が足りない。前回の細かい分類を掲載してほしい。

総和町

調査票を配付したところ、読んで記入するのが面倒だという家庭が多かった。仕方がないので一軒ずつ調査票の上から下まで全部説明して配付した。配付には時間がかかったが、まちがいがなく記入してあるので収集は楽であった。

税金などの質問や、共かせぎの奥さんの職業の記入もれなども少しあった。共かせぎの人は近所に調査票を依頼しておく場合が多いが、調査票の下の電話欄は、不明個所の問い合わせに便利であった。

総和町の場合、他県からの転入者が多く、近所とのつき合いもほとんどない。そういう世帯には朝夜何度も足を運ぶほかなかった。東京勤務の1人暮らしの世帯の場合、朝の出勤時間、夜の帰宅時間が不明で全く見えなかった。不在者用の調査票で処理した。

独身の世帯では、早朝訪問すると寝ているし、夜行くと遊びに出かけてしまっていて困った。(笑)

昔から住んでいる人は少なく、ほとんどが最近の転入者である。(次回に続く)

現代っ子は足長でむし歯!

—昭和50年度学校保健統計調査—

人口学事統計係

調査の概要

この調査は、学校保健統計調査規則第4条第2項の規定に基づいて、児童、生徒及び幼児の発育並びに健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得るため毎年実施しているものです。

調査の要領

1. 調査事項

(1)児童、生徒及び幼児の発育（身長、体重、胸囲、座高）

(2)児童、生徒及び幼児の健康状態（疾病異常）

2. 調査範囲

学校教育法第1条に定める学校のうち小学校、中学校、高等学校及び幼稚園

3. 調査対象

幼稚園、小学校、中学校及び高等学校のうち、調査実施校に指定された学校の幼児（5才児のみ）、児童、生徒の対象者とする。ただし、外国人は除く。

4. 調査の抽出方法

県内のすべての国、公、私立の学校を在学者数に応じていくつかの層に分け、各層ごとに文部省の示す抽出率（幼稚園 1/4小学校1/4中学校1/4高等学校1/6）にしたがい調査実施校を抽出する。この場合、本校分校はそれぞれ独立の1校とみなし、高等学校の全日制、定時制課程もそれぞれ独立の1校とする。

結果の概要

1. 幼児、児童及び生徒の体位

50年度における幼児、児童及び生徒の身長、体重、胸囲、座高の平均値を過去4年間（昭和46年度から昭和49年度）の平均値と比べると、男女ともほとんどの年令で伸びている。とくに身長、体重の伸びが大きい。「伸び盛り」の時期は、男子は中学生代、女子では小学校4年生から中学1年生にかけて伸びている。高校生については、身長は男女とも伸びているのに対し、座高がマイナスで、体型は「足長型」になっていることがはっきりわかる。（表1参照）

表 1 性別年令別にみた身長、体重、胸囲、座高の平均値

区 分	身 長			体 重			胸 囲			座 高					
	昭 和 50年度	4年平均	差	昭 和 50年度	4年平均	差	昭 和 50年度	4年平均	差	昭 和 50年度	4年平均	差			
男	幼稚園	5歳	109.8	109.9	△0.1	18.8	18.6	0.2	56.3	56.1	0.2	62.2	61.7	0.5	
		6歳	115.1	114.6	0.5	20.7	20.4	0.3	57.6	57.2	0.4	64.6	64.4	0.2	
		7	120.7	120.2	0.5	23.0	22.7	0.3	59.7	59.3	0.4	67.1	67.0	0.1	
	小学校	8	126.1	125.6	0.5	25.4	25.3	0.1	61.8	61.5	0.3	69.5	69.4	0.1	
		9	131.6	130.5	1.1	28.8	27.9	0.9	64.5	63.7	0.8	71.8	71.6	0.2	
		10	136.2	135.3	0.9	31.6	30.8	0.8	66.5	65.8	0.7	74.0	73.4	0.6	
	中学校	11	141.8	140.6	1.2	35.1	34.2	0.9	69.1	68.4	0.7	76.3	75.8	0.5	
		12歳	148.3	146.8	1.5	40.1	39.1	1.0	72.1	71.4	0.7	79.2	79.0	0.2	
		13	155.4	154.3	1.1	45.4	44.4	1.0	75.3	74.9	0.4	82.7	82.5	0.2	
	高等学校	14	161.5	160.6	0.9	50.9	49.8	1.1	79.5	78.9	0.6	86.0	85.8	0.2	
		15歳	165.3	164.7	0.6	55.9	54.7	1.2	82.6	82.1	0.5	88.7	88.4	0.3	
		16	167.6	167.0	0.6	57.5	56.8	0.7	83.9	83.7	0.2	89.4	89.5	△0.1	
		17	168.5	168.1	0.4	58.8	58.7	0.1	85.1	85.4	△0.3	89.7	90.0	△0.7	
	女	幼稚園	5歳	109.0	109.0	—	18.4	18.2	0.2	54.8	54.8	—	61.6	61.5	0.1
			6歳	114.5	113.9	0.6	20.3	20.0	0.3	56.2	55.9	0.3	64.3	63.9	0.4
			7	120.0	119.2	0.8	22.6	22.3	0.3	58.8	58.0	0.8	67.3	66.4	0.9
		小学校	8	125.1	125.0	0.1	25.0	24.9	0.1	60.4	60.1	0.3	68.9	69.1	△0.2
9			131.4	130.2	1.2	28.6	27.8	0.8	63.2	62.6	0.5	71.8	71.4	0.4	
10			137.0	136.3	0.7	32.1	31.4	0.7	56.1	65.5	0.6	74.6	74.2	0.4	
中学校		11	143.8	142.4	1.4	36.7	36.5	0.2	69.7	69.3	0.4	77.8	77.3	0.5	
		12歳	149.2	148.0	1.2	42.1	41.4	0.7	74.3	73.6	0.7	80.9	80.7	0.2	
		13	152.6	152.0	0.6	45.9	45.6	0.3	77.1	76.8	0.3	82.9	82.7	0.2	
高等学校		14	154.6	154.0	0.6	48.9	48.8	0.1	80.0	79.1	0.9	84.1	84.0	0.1	
		15歳	155.4	155.1	0.3	51.0	50.9	0.1	80.3	80.6	0.3	84.5	84.6	△0.1	
		16	156.0	155.4	0.6	52.2	51.8	0.4	82.1	81.3	0.8	84.8	84.9	△0.1	
		17	155.9	155.6	0.4	52.5	52.2	0.3	82.4	82.0	0.4	84.7	84.9	△0.2	

(注) 4年平均とは、昭和46年度から昭和49年度までの体位の平均値を平均したものである。

2. 幼児、児童及び生徒の健康状態

最も多いのはむし歯で、幼稚園から高校まで被患率は91~96%に達しており、むし歯のないものを探すのはむずかしいほどである。

49年度の健康診断から尿検査、肥満傾向などの検査項目が加わった。肥満傾向というのは、体が太っていて体力、運動能力が劣り、学校医が教育上とくに配慮が必要だと判定した者、いいかえればかなり目立つ「肥

満児」のことで、この「肥満傾向」の割合は幼稚園0.41%小学校1.17%中学校0.96%高等学校0.82%で小・中学校では百人に1人ぐらいの割合となっている。

また、じん臓疾患の早期発見のために加えられた尿検査では「蛋白検出者」が幼稚園1.32%小学校0.33%中学校0.95%高等学校3.16%になっている。高校では百人中約3人に蛋白が出ているわけ、もっとも健康人でも蛋白が出ることもある。(嶋根)

表 2 疾 病 異 常 被 患 率 (単位 %)

疾 病		幼 稚 園		小 学 校		中 学 校		高 等 学 校	
		男	女	男	女	男	女	男	女
裸視力	視力1.0未満の者	10.24	14.13	18.85	28.60	36.86	41.46
	色覚異常 難聴	3.25	0.06	3.58	0.14	4.50	0.17
眼	ト ラ コ ー マ	—	0.04	0.05	0.02	0.11	0.05	0.17	0.19
	結 膜 炎	0.70	0.58	1.25	1.21	0.80	0.70	1.05	1.19
	その他の眼疾・異常	0.11	0.08	1.39	1.16	0.74	0.61	0.59	0.54
耳・鼻・いん頭	中 耳 炎	0.17	0.26	0.16	0.10	0.22	0.12	0.31	0.11
	その他の耳疾・異常	0.07	0.11	0.43	0.42	0.64	0.46	0.90	0.01
	慢性副鼻腔炎	0.03	0.07	0.27	0.13	0.74	0.77	0.95	0.35
	アデノイド	0.07	0.15	0.07	0.03	0.02	0.03	0.01	0.01
	へんとう肥大	6.11	5.18	8.34	7.38	5.70	4.24	2.57	1.88
	鼻・いん頭炎	0.20	0.29	0.54	0.33	1.58	0.21	0.67	0.04
	喉 頭 炎 その他の鼻・いん頭疾 患・異常	—	0.04	—	—	0.02	—	0.01	—
歯	う 歯	93.96	94.54	96.38	95.99	91.48	96.06	91.02	94.72
	処置完了者	7.52	8.72	9.84	11.63	16.09	19.60	19.24	22.26
	未処置歯のある者	86.44	85.82	86.54	84.36	75.39	76.46	71.78	72.46
	その他の歯疾・異常	0.82	0.63	9.77	9.45	5.66	4.99	2.84	2.39
	結 核			0.07	0.04	0.05	0.02	0.02	0.01
	蛋 白 検 出	1.33	1.32	0.21	0.46	1.09	0.82	3.95	2.18
	寄 生 虫 卵 保 有	1.46	1.17	4.74	3.74
内 科 的 疾 患	栄 養 不 良	—	—	0.20	0.20	0.08	0.06	0.28	0.02
	肥 満 傾 向	0.03	0.40	1.32	1.01	0.97	0.95	0.88	0.75
	せき柱、胸郭異常	0.96	0.15	0.67	0.29	0.46	0.18	0.55	0.07
	伝染性皮膚疾患	0.07	0.22	1.11	0.51	0.59	0.16	0.46	0.08
	心臓疾患・異常	0.27	0.26	0.27	0.31	0.39	0.30	0.38	0.42
	ぜん 息	0.62	0.44	0.49	0.21	0.40	0.24	0.13	0.06
	腎臓疾患	—	0.04	0.17	0.10	0.22	0.17	0.27	0.16
	寄生虫	—	—	0.06	0.01	—	—	—	—
	脳性小児麻痺	—	—	0.03	0.03	0.03	0.01	0.05	0.01
	運動機能障害	0.03	—	0.16	0.18	0.18	0.17	0.05	0.20
	身体虚弱	—	—	0.14	0.14	0.14	0.13	0.15	0.05
	言語障害	0.03	0.11	0.32	0.07	0.20	0.12	0.10	0.01
	精神薄弱	0.03	0.04	0.51	0.43	0.73	0.55	—	—
その他の疾病・異常	0.55	0.55	0.51	0.47	0.46	0.46	0.43	0.86	
ツク反 ペリ ルン応	陽 性	53.89	57.97	89.03	87.59
	疑 陽 性	19.54	18.81	7.76	9.00
	陰 性	26.57	23.22	3.22	3.41

われらトーマン

スキー雑話

庶務係 斉藤利夫

雪の少ない都会の人々にとって、砂塵の舞い上げるコンクリートのジャングルを抜け出し、一步白銀の世界へ足を踏み入れた時には、一瞬、純白のもつすばらしさ、特に山なみを一面におおった神秘的な姿に魅了されることであろうが、反面豪雪地方の人々にとっては積雪による交通マヒや各種災害等、この上ないめいわく者(物)であろう。そのような暮しの中で発達してきたスキーと言うものは、本来積雪地方における唯一の歩行用具として発達してきたものだそうである。ところが”単なる歩行用具”としてのスキー、ただそれだけでは物足りなく、スキーに対していろいろな技術が考案され、まったく異なった二つの面が表われてきた。その1つは、先頃開会された冬季オリンピックのような100分の何秒かの記録を争う本格的な競技であって、アルペン競技、ジャンプ競技等種々多様である。もう1つは、家族や友人達と単に滑るだけの遊びとしてのスキーである。これについては、記録やルールに縛られることなく楽しく、美しく滑れば良いという事である。これらのスキーヤーを分類してみると、競技としてのスキーヤーの層としてはごく薄く、大部がレジャーとしてのスキーヤーであると思う。私もこのような中であってレジャーとしてのスキーを始めてから5~6年になろうとしているが、自分でも驚くぐらい満足するような滑降をみたことがない。

先日、当課の友人達と、新潟県湯沢スキー場へ行って来たのだが、何と言っても本県は雪こそ少ないが、地理的にはある程度恵まれている方だと思う。ここ湯沢町は東京より3時間も汽車に揺られていれば小説「雪国」を思わせるようなあたり一面の雪野原である。思わず窓際により、曇った窓ガラスに手をあてて車外に目を向けると、青い空と真白い雪とのコントラストがまた格別である。

山が近づくにつれ心がはずみ、色とりどりのザックや手袋に身をかため暖房のきいた列車からホームに下りると

さすがに雪国らしく一段と肌をさすような風である。先頭を追いかけけるようにしてグレンデへと向かうと、すでにあちこちで奇声のかけ合いが始まっている。

二・三歩進んでは転んでしまい、また立ち上がると同時に転んでしまう者、思わず吹き出してしまうような光景がたびたび見られる。それでも必死になってまた滑り出そうとするのは、俗世界を離れたすがすがしい気分の良い空気の中に身を置いた自分に、より一層楽しく美しく滑ろうと思う心が潜んでいるからであろう。先にものべたように私自身スキーをはいてから5~6年といいましたが、始めた動機としては先輩、友人達に連れられて新潟県の苗場スキー場へ行ったのがきっかけである。最初のころは白銀の苗場山の雄大さには魅かれたものの、どうしてこのような寒い地方にまで来てあのような重いイタやクツを身につけなくともと思ったほどである。いやおうなく2日間位は転んでは起き、起き上がっては転びの時間を繰り返しているうちに、体の動きやイタの動きがある程度自由に雪になじんできたような気がしてきたのである。そのようになれば寒さや痛さなどは寄せつけずに、ただひたすらに滑り通して時の過ぎるのも忘れてしまうほどである。そのような中でスキーヤーのマナーが問題になってくるのであるが、上級者になるほどマナーが悪いと言っても過言ではないと思う。事実そのような人たちが初心者の前を気にもとめないで暴走して行くことがしばしば見かけられるのである。スキー場のような(スキー場に限るわけではないが)公共の施設においては一人一人が気持よく楽しく滑りたいものである。

私自身まだまだ未熟であり、悪い点を少しずつでもなおしながら、毎年真白い雪の上を日焼けした顔でおもいきり滑ることだけが楽しみな今日この頃である。



煙 草 と 私

企画調整係 伊 藤 宰

私が吸っている煙草には3種類ある。1つは事務所用、2つめは通勤用、3つめは家庭用である。

事務所用にもっか愛用しているのは、カン入りピースである。”50本入り1カン375円”なりで、約2週間もつのであるから、1日に吸う量は微々たるものである。日曜日には別の煙草を吸うから、12日間で50本、375円の消費ということで、1日4.2本、31.3円を吸うことになる。以前はショート・ホープを吸っていたのだが、いちいち買うのが面倒なので、50本入りのカン入りピースにした次第。

ただピースは両切りなので、そのままではやたらと口の中に煙草の葉が残ってしまう。仕方がないので、アクア・フィルターを使ってなんとかそれを防いでいる。

通勤用にはショート・ホープを吸っている。通勤の時ポケットに入れておくには、箱が丈夫な方がよい。箱がつぶれてしまうと、中味の煙草が曲ったり平たくつぶつぶれてしまう。ドイツの煙草にはゲルベール・ゾルテというのがあって、始めからだ円形につぶれているが、大底そんな上品なつぶれ方はしない。ヨレヨレにつぶれた煙草を伸しながら吸うのは、あまりさえたものではない、これの消費量も少なく、10本入り1箱が1週間はもつ。

10本入りであるというのも、煙草の吸いすぎ防止には役立っている。1度に1箱しか持ち歩かないし、途中ではなるべく買わないことにしているからである。

家庭用にはパイプ煙草を愛用している。パイプを使い始めてから、かれこれ4年になるが、金銭面での制約から安いパイプと煙草しか手に入れることができない。

今までに使ったパイプは5本あるが、現在手本にある使用に耐えるのは2本にすぎない。最初の1本は吸口

とのつなぎ目を割ってしまった。2本めはポケットに入れておいて紛失してしまった。3本めは、酔っぱらって吸口を噛みしめた途端に割ってしまった。1年近く使ったようやく艶が出た所だったので、ショックは大きかった。それ以来、酒を飲む時にはパイプは使わないことにしている。

4本めは県庁に就職して最初に購入したイタリア製のパイプである。外国製とはいっても安いものでしかないが、自分なりに手入れしながら使っていれば、おのずと愛着もわこうというもの。

5本めは昨年の暮に買ったもので、これはチェコスロバキア製の超安物である。

パイプ煙草は安物を中心に、できるだけ多くの品種を吸ってみた。国産品では、知る人ぞ知る桃山、これはからすぎて合わなかった。その他ロッキン・チェアなどもあるが、香りが単調であった。外国産では、ハーフ・アランド・ハーフ、ポンド・ストリート、エジュワース、プリンス・アルバート、サー・ウォルター・ラーレ、アンホーラ、キャプスタン・ネイビー・カットなど、250円台（現在では500円近い値だが）を中心に吸ってみたが、まだこれといって自分の気に入るものがない。今後は煙草の値も上がったことだし、今までの様にあれこれと買い集めることもままならないだろうが、なんとかして値の高い煙草にもアタックしてみようと思う。

煙草の消費量の面からみれば、愛煙家とはいええないだろうが、煙草の種類面では愛煙家になるのかもしれない。

主 要 指 標

Ⅰ 主 要

茨 城 県

年 月	世 帯 と 人 口			金 融 機 関 預 貸 金 (増 減)		手 形 交 換 高		百 貨 店	鉱 工 業 生 産 指 数 (総 合)
	世 帯	人 口	増 減	実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額	売 上 高	
								人	
昭和47年	537,960	2,210,636	29,977	278,883	152,374	1,384	686,060	19,567	164.3
48	551,436	2,250,374	41,317	323,795	210,443	1,474	877,706	29,454	199.2
49	568,243	2,294,443	44,440	217,082	138,920	1,537	1,065,008	34,915	202.8
50	590,458	2,342,173	39,661	1,618	1,127,165	41,237	...
50. 1	571,703	2,306,086	4,088	△39,902	△3,138	116	93,537	2,927	178.2
2	572,639	2,309,259	3,173	3,074	3,938	122	83,024	2,545	174.3
3	573,231	2,311,493	2,234	63,774	18,597	133	94,634	3,452	184.3
4	572,931	2,308,718	△2,775	△8,430	△1,776	130	96,375	2,983	190.0
5	577,612	2,314,954	r6,236	22,911	△3,073	137	90,840	3,110	190.7
6	580,233	2,319,453	r4,499	38,579	19,955	138	89,701	3,759	206.0
7	581,459	2,323,072	r3,619	56,966	20,114	140	96,888	3,913	209.8
8	582,145	2,326,233	r3,161	△10,490	23,354	124	86,734	2,862	212.3
9	582,892	2,330,351	r4,118	48,715	7,914	142	93,942	2,824	218.7
10	590,458	2,342,172	r4,769	10,077	13,842	137	94,028	3,588	212.2
11	591,555	2,345,686	r3,502	r62,818	r11,808	117	83,020	3,138	213.7
12	592,366	2,348,723	3,037	p88,891	p34,322	182	124,442	6,136	...
資 料	県 統 計 課			日 本 銀 行 水 戸 事 務 所					

全 国

年 月	人 口		銀 行 券 発 行 高	全 国 銀 行 勘 定		手 形 交 換 高		百 貨 店	鉱 工 業 生 産 指 数 (総 合)
	人 口	増 減 数		実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額	売 上 高	
			千 人					億 円	
昭和46年	105,014	1,294	64,077	487,593	490,480	399,420	3,670,150	21,206	102.6
47	107,332	—	83,107	610,510	615,993	402,157	4,270,318	25,272	110.1
48	108,710	1,378	100,991	686,748	718,533	420,614	5,454,428	31,088	129.5
49	110,049	1,339	116,678	748,631	796,139	413,253	6,639,385	36,831	126.4
49.12	110,267	45	116,678	748,631	796,139	42,464	695,591	6,126	111.6
50. 1	110,312	160	97,744	731,863	797,609	29,021	561,549	2,536	106.6
2	110,472	73	100,031	737,587	802,133	31,373	554,131	2,439	105.1
3	110,545	83	102,355	762,288	813,291	33,547	655,031	3,366	105.3
4	110,628	101	101,911	766,122	811,938	32,729	625,623	2,954	108.9
5	110,729	127	96,798	780,964	817,484	34,491	608,821	2,888	109.5
6	110,856	97	105,608	782,771	827,118	35,370	617,117	3,146	111.1
7	110,953	...	105,069	785,598	837,707	35,030	650,365	4,243	113.7
8	103,298	791,330	846,290	30,653	564,006	2,859	111.9
9	102,683	810,808	854,058	35,464	688,471	2,776	113.8
10	101,224	807,020	859,387	34,430	652,715	3,368	p113.7
11
資 料	総 理 府 統 計 局		日 本 銀 行 統 計 局				通 産 省		

(注) ※は年度数値。 47年5月以降は沖縄県を含む。 世帯と人口の各年の数値は10月1日現在。
 全国の産業用大口電力消費量の年度計については、自家発電を含む。

主要指標

指 標

茨 城 県

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	求 人 倍 率	消 費 者 物価指数 (水戸市)	家計消費 支 出 (水戸市 勤労者)	産 業 用 電力消費量 (50KW以上)	建 築 着 工		交通事故 発生件数	年 月
							工 事 費 額	床面積		
91,167	133.7	106.7	2.21	110.7	102,916	※4,252,572	175,097	4,972	14,952	昭和47年
106,278	157.6	110.3	2.82	124.2	113,422	※3,682,864	303,547	6,690	14,010	48
137,013	203.8	110.0	1.37	156.3	142,806	※3,149,395	358,696	5,639	11,850	49
...	174.6	50
114,580	170.4	107.5	0.94	167.0	126,763	255,921	20,912	261	860	50. 1
111,078	165.2	105.7	0.89	168.1	138,851	264,620	55,108	523	784	2
114,271	170.0	105.2	1.06	170.0	162,277	270,412	25,652	373	r1,007	3
113,763	169.2	106.3	1.08	173.7	199,948	270,163	44,152	587	944	4
118,242	175.9	105.9	1.02	174.8	157,238	272,550	21,715	329	r961	5
248,039	368.9	105.4	1.07	174.8	187,704	300,945	32,300	417	924	6
196,480	292.3	105.0	1.17	175.3	140,040	314,712	30,286	445	r1,000	7
134,479	200.0	104.4	1.47	175.5	133,912	290,412	28,460	429	1,108	8
130,451	194.0	103.9	1.41	177.1	137,047	303,978	28,642	432	907	9
126,698	188.5	104.1	1.46	179.4	135,983	330,551	31,941	441	1,064	10
130,082	193.5	104.3	1.13	r179.2	...	305,650	37,911	523	991	11
365,324	543.4	104.3	...	180.6	...	316,210	965	12
県 統 計 課			県職業安定課	県 統 計 課		東京電力茨城支店	建設省計画局	県警本部		資 料

全 国

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	求 人 倍 率	卸 売 消 費 者 物価指数	消 費 者 物価指数	家計消費 支 出 (勤 労 者)	産 業 用 大口電力 消費量	建 築 着 工		年 月
								工 事 費 額	床面積	
85,120	114.5	101.1	1.12	99.2	106.1	91,285	※216,436	72,942	197,737	昭和46年
98,528	132.9	102.3	1.16	100.0	110.9	99,346	※236,591	97,122	242,310	47
120,430	161.7	103.1	1.75	115.9	123.9	116,992	※256,126	146,501	281,750	48
151,694	204.3	103.7	1.20	152.2	154.2	142,203	※248,818	136,309	198,558	49
364,624	491.4	102.7	0.77	157.4	164.7	232,304	16,016	11,427	15,007	49. 12
125,845	169.6	101.2	0.74	156.7	165.5	139,055	14,780	8,645	11,376	50. 1
120,971	163.0	100.5	0.71	155.9	166.0	134,662	14,115	10,810	13,133	2
129,649	174.7	100.3	0.71	155.6	167.6	168,317	15,210	11,566	15,681	3
125,547	169.2	102.3	0.73	155.9	171.3	156,346	14,977	11,930	16,441	4
128,778	173.5	102.1	0.64	155.9	172.5	153,345	...	11,105	15,281	5
212,156	286.0	101.9	0.58	155.7	172.4	167,782	...	11,654	16,449	6
259,890	350.2	p101.7	0.56	155.9	172.8	176,969	...	14,622	19,466	7
155,215	209.2	p101.0	0.55	156.8	172.4	166,350	...	13,758	18,399	8
138,089	186.1	p100.6	0.55	157.3	175.6	149,809	...	12,842	17,105	9
137,408	185.2	p100.2	0.53	157.9	178.5	159,667	...	13,603	17,939	10
...	158.3	177.3	11,682	15,730	11
労 働 省				日本銀行統計局	総 理 府 統 計 局		通 産 省	建 設 省 計 画 局		資 料

人 口

2 人 口

茨 城 県

2-1 世帯，人口および人口移動

(単位：世帯，人)

年月日	世帯数	人 口			人 口 移 動					
		総 数	男	女	増減数	自 然 動 態		社 会 動 態		外国人 増 減
						出 生	死 亡	転 入	転 出	
46.10.1	525,585	2,180,835	1,075,077	1,105,758	34,587	40,061	16,644	129,825	119,024	209
47.10.1	537,960	2,210,636	1,090,757	1,119,879	29,977	41,301	16,354	121,294	116,409	145
48.10.1	551,436	2,250,374	1,111,710	1,138,664	41,317	42,569	17,298	132,813	116,751	△16
49.10.1	568,243	2,294,443	1,135,458	1,158,985	44,440	42,597	17,047	133,630	114,681	△59
50.10.1	590,458	2,342,173	1,159,772	1,182,401	39,661	40,113	16,750	130,691	114,484	91
50.2.1	572,639	2,309,259	1,143,113	1,166,146	3,173	3,649	1,679	9,167	7,942	△22
3.1	573,231	2,311,493	1,144,263	1,167,230	2,234	3,276	1,831	8,134	7,370	25
4.1	572,931	2,308,718	1,142,612	1,166,102	△2,775	3,371	1,758	16,510	20,922	24
5.1	577,612	2,314,954	1,146,429	1,168,525	r6,236	3,457	1,421	21,072	16,876	4
6.1	580,233	2,319,453	1,149,045	1,170,408	r4,499	3,426	1,312	11,763	9,388	10
7.1	581,459	2,323,072	1,150,906	1,172,166	r3,619	3,081	1,081	8,746	7,158	31
8.1	582,145	2,326,233	1,152,601	1,173,632	r3,161	3,241	1,271	8,500	7,323	14
9.1	582,892	2,330,351	1,154,721	1,175,630	r4,118	3,330	1,131	9,071	7,151	△1
10.1	590,458	r2,342,173	r1,159,772	1,182,401	r4,769	3,315	1,157	9,627	7,049	33
11.1	591,555	2,345,686	1,161,713	1,183,973	r3,502	3,412	1,283	9,230	7,834	△23
12.1	592,366	2,348,723	1,163,354	1,185,369	r3,037	2,958	1,248	8,569	7,257	15
51.1.1	593,011	2,352,197	1,164,926	1,187,271	3,472	3,511	1,469	9,327	7,896	△1

(注) 人口移動のうち(1)昭和45年～昭和49年については各年の年間数値を示す。

(2)昭和49年～昭和50年の月別人口移動については前月の月間数値を示す。

昭和50年10月1日の世帯数，人口については，国勢調査の概数です。

資料：県統計課

茨 城 県

2-2 市町村別人口と世帯

(単位：人，世帯)

市 町 村	昭和50年 10月1日 人口総数	5 1 年 1 月 1 日			市 町 村	昭和50年 10月1日 人口総数	5 1 年 1 月 1 日		
		人口総数	増 減 数	世 帯 数			人口総数	増 減 数	世 帯 数
総 数	2,342,173	2,352,197	3,473	593,011	竜ヶ崎 市	40,569	40,691	73	10,442
市 部	1,160,359	1,164,994	1,570	314,430	那珂湊 市	33,144	33,116	29	8,322
郡 部	1,181,813	1,187,203	1,903	278,581	下 妻 市	29,234	29,401	69	6,945
水 戸 市	197,950	199,077	362	60,570	水 海 道 市	38,820	38,931	53	9,177
日 立 市	202,387	202,245	△44	56,166	常 陸 太 田 市	35,322	35,381	23	9,028
土 浦 市	104,031	104,555	188	29,109	勝 田 市	79,997	80,340	76	21,327
古 河 市	55,971	56,117	40	15,209	高 萩 市	30,982	31,133	59	8,552
石 岡 市	43,678	43,934	78	11,572	北 茨 城 市	44,332	44,324	△18	11,575
下 館 市	57,778	57,999	△1	14,382	笠 間 市	30,908	30,980	24	7,546
結 城 市	44,130	44,526	168	10,696	取 手 市	52,821	53,794	295	15,179
					岩 井 市	38,305	38,450	96	8,633

人 口

市 町 村	昭和50年	5 1 年 1 月 1 日			市 町 村	昭和50年	5 1 年 1 月 1 日		
	10月1日 人口総数	人口総数	増 減 数	世 帯 数		10月1日 人口総数	人口総数	増 減 数	世 帯 数
東茨城郡	132,347	132,844	143	31,663	稲敷郡	126,946	127,841	298	30,579
常澄村	9,247	9,291	26	2,010	江戸崎町	12,175	12,230	7	2,958
茨城町	30,565	30,761	62	7,048	美浦村	8,161	8,189	4	1,866
小川町	17,250	17,338	25	4,036	阿見町	29,738	29,896	18	7,629
美野里町	17,160	17,312	47	4,168	牛久町	27,674	28,177	190	7,289
内原町	13,658	13,689	△19	3,027	荃崎村	8,305	8,363	22	1,958
常北町	10,551	10,552	4	2,652	新利根村	8,590	8,625	19	1,876
桂村	6,897	6,870	—	1,753	河内村	11,657	11,682	5	2,517
御前山村	5,356	5,358	5	1,334	桜川村	7,865	7,863	11	1,779
大洗町	21,663	21,673	△7	5,635	東村	12,781	12,816	22	2,707
西茨城郡	64,502	64,745	84	15,386	新治郡	92,761	93,079	51	21,207
友部町	24,146	24,309	43	5,916	出島村	17,152	17,197	△8	3,933
岩間町	15,012	15,036	34	3,575	玉里村	6,126	6,193	42	1,379
七会村	3,015	3,017	2	673	八郷町	27,487	27,542	12	5,985
岩瀬町	22,329	22,383	5	5,222	千代田村	18,634	18,623	△24	4,613
那珂郡	111,758	112,290	191	28,058	新治村	8,548	8,538	△4	1,965
東海村	25,151	25,476	82	6,372	桜村	14,814	14,986	33	3,332
那珂町	34,213	34,403	74	8,579	筑波郡	91,789	92,190	161	21,142
瓜連町	7,117	7,114	8	1,703	谷田部町	22,225	22,382	44	5,184
大宮町	23,488	23,536	23	6,013	伊奈村	15,250	15,389	49	3,545
山方町	9,864	9,849	7	2,495	谷和原村	10,152	10,167	22	2,218
美和村	6,150	6,151	3	1,433	豊里町	10,898	10,934	12	2,424
緒川村	5,775	5,761	△6	1,463	筑波町	22,011	20,054	31	5,199
久慈郡	55,969	55,885	△12	13,682	大穂町	11,253	11,264	3	2,572
金砂郷村	11,310	11,273	△10	2,722	真壁郡	74,368	74,614	110	16,833
水府村	8,284	8,264	△4	1,993	関城町	14,838	14,889	24	3,260
里美村	5,508	5,510	2	1,350	明野町	16,518	16,626	30	3,704
大子町	30,867	30,838	—	7,617	真壁町	20,685	20,715	30	4,846
多賀郡	10,127	10,236	28	2,604	大和村	7,320	7,321	5	1,574
十王町	10,127	10,236	28	2,604	協和町	15,007	15,063	21	3,449
鹿島郡	157,291	158,253	288	37,814	結城郡	49,507	49,695	82	10,769
旭村	10,213	10,210	△12	2,182	八千代町	22,161	22,224	7	4,609
銚田町	26,641	26,679	33	6,356	千代川村	8,126	8,165	23	1,820
大洋村	9,517	9,555	12	2,124	石下町	19,220	19,306	52	4,340
大野村	11,104	11,249	78	2,539	猿島郡	100,052	100,463	117	21,807
鹿島町	37,128	37,414	49	9,185	総和町	32,073	32,204	31	7,386
神栖町	29,972	30,254	22	7,657	五霞村	8,634	8,609	△13	1,708
波崎町	32,716	32,892	106	7,771	三和町	20,841	21,005	61	4,498
行方郡	69,981	70,029	60	16,292	猿島町	14,157	14,200	△5	2,812
麻生町	18,195	18,184	—	4,101	境町	24,347	24,445	43	5,403
牛堀町	6,838	6,823	△7	1,629	北相馬郡	44,416	45,039	302	10,745
潮来町	20,670	20,725	37	5,146	守谷町	14,506	14,754	112	3,477
北浦村	10,919	10,939	25	2,368	藤代町	20,407	20,746	173	5,107
玉造町	13,359	13,358	5	3,048	利根町	9,503	9,539	17	2,161

(注) (1)50年10月1日については国勢調査の概数です。(2)「増減数」は住民基本台帳に基づいたもので、外国人は含まない。
資料：県統計課

労働

3 労働

茨城県

3-1 現金給与総額

(単位：1人1カ月当たり，円)

年 月	調査産業計 (サービス業を除く)	鉱 業	建設業	製造業	卸小売業	金保 融業	運通 輸業	電気・ガス 水道業
46	78,153	87,714	82,110	74,830	63,424	90,463	96,651	108,524
47	91,167	105,455	95,093	87,474	70,742	103,833	112,073	125,245
48	106,278	117,895	107,108	104,416	87,049	112,099	125,962	151,892
49	137,013	153,905	137,166	135,740	110,967	148,703	157,788	182,696
50. 1	114,580	169,858	116,366	109,770	107,064	124,266	137,419	183,120
2	111,078	128,521	115,403	108,631	91,286	107,026	136,047	173,423
3	114,271	133,682	122,493	105,763	90,857	157,959	163,515	157,453
4	113,763	127,475	116,733	110,285	95,574	116,274	146,067	153,146
5	118,242	132,745	125,209	117,437	92,408	117,970	135,857	172,483
6	248,039	205,782	240,631	252,264	138,427	348,635	251,538	464,780
7	196,480	255,806	164,919	198,741	201,950	138,589	227,485	169,188
8	134,479	144,215	151,630	125,852	107,009	174,841	183,863	164,028
9	130,451	143,497	124,379	124,781	99,849	132,468	194,521	168,805
10	126,698	137,182	126,075	123,485	101,494	127,503	165,200	171,168
11	130,082	138,418	127,035	125,395	104,204	179,004	160,440	164,685
12	365,324	309,362	323,982	354,480	262,166	499,849	475,843	557,031

(注) 1 昭和45年12月及び昭和48年4月にそれぞれ標本抽出替えが行なわれたため実数を直接比較することはできない。資料：県統計課
2 規模30人以上の事業所。

茨城県

3-3 産 業 別 雇 用

年 月	調 査 産 業 計 (サービス業を除く)				鉱 業		建 設 業		
	雇 用		賃 金		雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	
	対前月(年) 差	対前月(年) 差	対前月(年) 差	対前月(年) 差					
昭和45年	219,537人				67,429円	4,983人	78,173円	9,609人	68,842円
昭和45年	100.0	6.1	100.0	16.5	100.0	100.0	100.0	100.0	
46	104.1	4.1	115.3	15.3	72.3	112.9	120.5	117.6	
47	106.7	2.6	133.7	18.4	45.4	136.5	141.8	134.2	
48	110.3	3.6	157.6	23.9	27.9	150.9	152.0	155.4	
49	110.0	△0.3	203.8	46.2	23.6	196.3	151.5	200.7	
50. 1	107.5	△1.4	170.4	△319.7	22.9	216.6	155.5	170.3	
2	105.7	△1.8	165.2	△5.2	22.8	163.9	156.8	168.9	
3	105.2	△0.5	170.0	4.8	22.9	170.5	156.2	179.3	
4	106.3	1.1	169.2	△0.8	22.9	162.6	151.5	170.8	
5	105.9	△0.4	175.9	6.7	23.0	169.3	146.3	183.3	
6	105.4	△0.5	368.9	193.0	23.1	262.4	150.4	352.2	
7	105.0	△0.4	292.3	△76.6	23.2	326.2	151.0	241.4	
8	104.4	△0.6	200.0	△92.3	23.3	183.9	145.7	221.9	
9	103.9	△0.5	194.0	△6.0	22.9	183.0	143.4	182.0	
10	104.1	0.2	188.5	△5.5	23.0	174.9	147.8	184.5	
11	104.3	0.2	193.5	5.0	22.7	176.5	151.6	185.9	
12	104.3	0.0	543.4	349.9	23.1	394.5	155.8	474.2	

(注) 規模30人以上の事業所。48年4月の標本抽出替えにともないギャップ修正を行った。

労働

茨城県 3-2 労働時間 (単位：1人1カ月当たり，時間)

年 月	調査産業計	(カービズ業を除く) 対前月(年)差	鉱業	建設業	製造業	卸売小売業	金融保険業	運輸通信業	電気ガス水道業	所定内労働時間	
										調査産業計	製造業
昭和45年	189.4	△1.9	195.3	192.1	189.8	188.3	171.8	193.5	172.2	169.2	168.9
46	184.7	△4.7	194.1	197.2	183.7	185.0	166.7	192.6	172.2	168.3	168.3
47	184.7	—	190.0	199.4	184.2	184.3	163.0	192.6	170.8	167.9	167.9
48	184.6	△0.1	182.4	197.6	183.0	186.4	163.4	197.7	170.8	166.2	164.6
49	177.5	△7.1	185.2	198.4	173.3	183.3	156.1	196.8	170.2	164.2	161.7
50. 1	150.0	△25.3	159.9	180.3	139.5	171.3	142.0	182.1	164.1	141.7	134.6
2	165.8	15.8	182.0	193.8	160.9	176.6	142.1	181.0	155.4	157.9	155.7
3	163.1	△2.7	177.1	193.7	154.5	178.3	161.3	185.5	166.1	154.2	148.9
4	172.9	9.8	170.7	190.7	166.7	189.5	166.1	190.0	173.5	164.1	160.5
5	163.2	△9.7	170.1	179.6	157.2	177.1	159.2	182.1	159.4	154.4	150.8
6	181.7	18.5	181.2	195.8	179.7	190.3	162.8	187.0	173.0	171.8	171.7
7	178.8	△2.9	181.8	191.4	174.9	187.9	170.6	191.0	180.9	168.6	166.5
8	167.2	△11.6	166.3	187.1	161.6	179.2	155.4	186.4	159.8	157.3	153.4
9	176.7	9.5	169.9	185.4	175.7	183.0	155.3	182.6	166.8	166.1	166.4
10	175.3	△1.4	168.4	179.6	172.5	182.5	163.9	187.9	183.0	164.3	162.7
11	177.8	2.5	178.2	195.9	177.2	187.4	150.0	175.5	156.7	166.8	167.4
12	178.4	0.6	183.2	198.3	174.4	184.0	170.3	189.3	172.5	165.7	163.3

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

賃金指数

(昭和45年=100)

製造業		卸売・小売業		金融・保険業		運輸・通信業		電気・ガス・水道業	
雇用	賃金	雇用	賃金	雇用	賃金	雇用	賃金	雇用	賃金
152,049人	64,558円	15,781人	57,113円	9,596人	80,645円	24,639人	80,507円	2,585人	100,098円
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
103.0	115.2	116.3	115.0	107.7	111.0	100.5	120.0	103.8	107.7
104.6	133.7	127.0	132.6	107.6	126.0	101.6	139.0	111.5	123.5
109.2	161.7	136.5	152.7	106.2	139.0	97.3	156.5	120.2	151.7
109.4	211.0	131.7	190.7	108.6	185.5	95.7	196.0	124.9	183.1
106.5	170.6	130.1	184.0	107.7	155.0	91.7	170.7	125.3	183.5
104.1	168.8	127.3	156.9	107.8	133.5	92.3	169.0	125.0	173.8
102.8	164.4	132.7	156.1	109.7	197.0	91.9	203.2	124.0	157.8
103.8	171.4	135.3	164.2	115.6	145.0	92.4	181.5	132.8	153.5
103.4	182.5	135.4	158.8	116.3	147.1	93.2	168.8	133.0	172.9
102.4	392.1	135.5	237.9	115.1	434.8	93.4	312.5	134.2	465.9
101.9	308.9	135.4	347.1	114.5	172.8	93.4	282.6	133.3	169.6
101.3	195.6	133.6	183.9	113.7	218.1	94.8	228.4	133.4	164.4
100.9	193.9	132.5	171.6	113.3	165.2	94.9	241.7	131.5	169.2
100.9	191.9	133.1	174.4	111.8	159.0	94.9	205.3	131.4	171.6
100.7	194.9	133.7	179.1	112.2	223.2	95.8	199.3	131.5	165.1
100.5	551.0	133.3	450.5	112.0	623.4	95.9	591.2	130.8	558.3

資料：県統計課

農 業

4 農 業

茨城県 4-1 農産物の平均販売価格 (単位:円)

年 月	うるち米 (玄米60kg)	生 乳 (飲用10kg)	鶏 卵 (10kg)	豚 肉 (生体10kg)	乳用牛 (めす, 生 後6カ月 ホルスタ イン純種) (1頭当たり)	だいこん (1kg当たり)	きゃべつ (1kg当たり)	きゅうり (1kg当たり)
昭和47年12月末	8,983	532	2,543	2,515	90,333	17	13	290
48	10,500	572	3,165	2,507	131,667	18	41	310
49	13,522	885	3,340	4,101	69,000	26	30	315
50	13,667	936	2,765	4,780	101,667	40	105	358
50. 2	13,412	880	2,925	3,915	83,333	22	57	302
3	13,412	887	3,820	4,226	83,333	19	60	198
4	13,745	888	3,185	4,274	85,000	28	33	166
5	13,745	907	2,625	4,174	86,667	25	23	163
6	13,845	908	2,480	4,539	86,667	25	8	76
7	13,895	902	2,450	4,720	96,667	31	22	56
8	14,062	900	2,600	5,293	100,000	49	24	110
9	13,062	904	2,680	4,623	100,000	59	23	71
10	13,667	935	2,855	4,585	100,000	69	49	207
11	13,667	936	2,720	4,618	100,000	43	85	255
12	13,667	936	2,765	4,780	101,667	40	105	358
51. 1	14,000	931	2,305	5,097	101,667	50	155	327

(注) 1 価格は、それぞれの代表生産地における価格である。資料：農林省茨城統計情報事務所
 2 だいこん, きゃべつ, きゅうりは、水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。水戸市公設地方卸売市場

茨城県 4-2 農業用品の購入価格 (単位:円)

年 月	乳用牛 (成畜めす ホルスタ イン純種) (1頭当たり)	子 豚 (めす, 生 後60~90 日, ラン ドレース) (1頭当たり)	硫 安 (N 21% 樹脂袋 40kg)	過りん酸 石 灰 (紙袋40 kg, 可溶 性りん酸 17%)	複合肥料 (N8%, P 8%, K5 %, 樹脂 袋30kg)	配合飼料 (成鶏用, 紙袋20kg 粗たん白 15~19%)	配合飼料 (飼育用) 乳牛用, 紙袋30kg 粗たん白 15~18% 以上	M.E.P乳劑 (スミチオン ニコチン 含量50%) (100cc)
昭和47年	228,062	10,045	724	671	652	860	720	191
48	304,749	10,468	731	703	713	1,001	912	204
49	348,924	9,927	967	1,115	1,077	1,435	1,282	238
50	361,875	18,131	1,187	1,382	1,342	1,502	1,326	253
50. 2	330,000	14,500	1,162	1,380	1,326	1,625	1,432	240
3	342,500	16,750	1,162	1,380	1,326	1,625	1,432	250
4	357,500	17,250	1,162	1,380	1,334	1,510	1,347	257
5	357,500	17,250	1,168	1,390	1,349	1,490	1,347	257
6	365,000	18,250	1,168	1,390	1,349	1,490	1,347	257
7	380,000	20,000	1,168	1,390	1,349	1,418	1,290	257
8	380,000	20,700	1,168	1,390	1,349	1,418	1,290	257
9	380,000	20,667	1,158	1,376	1,353	1,418	1,290	257
10	380,000	19,750	1,158	1,376	1,353	1,433	1,290	257
11	370,000	19,750	1,158	1,376	1,353	1,500	1,225	257
12	370,000	20,375	1,158	1,376	1,341	1,500	1,225	257
51. 1	380,000	20,625	1,158	1,404	1,341	1,495	1,215	257

(注) 価格は農業地域代表市町村の価格である。資料：農林省茨城統計情報事務所

鉱工業

5 鉱工業

鉱工業生産指数

(昭和45年=100)

茨城県

年 月	産業総合		公益事業	鉱工業								
	品目数		2	107	6	101	9	5	5	41	7	26
	ウェイト		10,000.0	228.2	9,771.8	144.1	9,627.7	567.6	1,201.1	355.3	4,523.4	1,161.7
昭和46年	127.6	721.3	113.8	98.4	114.1	144.6	94.6	100.7	103.2	95.7	100.5	
47	164.3	1,454.6	133.9	81.6	134.7	199.3	108.3	216.8	106.2	114.5	105.4	
48	199.2	1,861.7	160.4	51.8	162.0	322.7	134.6	213.5	121.2	130.4	121.7	
49	202.8	2,143.7	157.5	45.7	159.2	352.2	124.4	200.4	124.3	168.8	111.8	
49.12	205.7	3,074.1	138.7	45.5	140.1	356.2	89.5	189.5	106.1	149.0	95.1	
50. 1	178.2	2,734.2	118.5	48.6	119.5	320.8	83.2	184.9	92.5	166.2	68.6	
2	174.3	2,542.7	119.8	54.8	120.8	311.4	77.2	184.4	100.7	148.0	87.7	
3	184.3	2,680.1	126.0	53.4	127.1	315.0	98.7	151.5	86.5	84.2	92.0	
4	190.0	2,582.2	134.1	63.0	135.2	291.4	108.1	188.4	98.7	146.4	86.5	
5	190.7	2,334.8	140.6	56.5	141.8	285.3	105.4	183.7	106.5	186.4	81.4	
6	206.0	2,785.8	145.7	66.3	146.9	317.1	101.1	210.8	114.2	188.2	92.8	
7	209.8	3,252.1	138.7	54.6	140.0	293.3	100.1	234.0	111.5	168.6	94.5	
8	212.3	2,966.8	147.9	56.8	149.3	306.5	89.7	226.8	114.0	150.9	108.2	
9	218.7	2,586.5	163.4	52.4	165.0	323.6	108.9	224.5	143.7	243.2	114.9	
10	212.2	2,248.2	164.6	50.4	166.3	330.9	113.1	223.1	144.2	262.1	108.8	
11	213.7	2,609.6	157.7	52.1	159.3	312.9	94.7	204.0	146.0	256.9	114.3	

年 月	鉱工業										
	製造工業										
	機械工業		窯業	化学	石油	パルプ	繊維工業	木製	材料	食品	その他
	輸送機械	精密機械	石工業	炭工業	紙・紙加工工業	織工業	木工	品業	料た工業	品の業	の工業
	品目数	5	3	2	18	2	2	3	1	7	6
	ウェイト	273.7	149.7	627.6	157.1	168.7	162.2	130.4	246.9	779.0	708.4
昭和46年	153.6	120.5	101.4	344.1	188.2	101.2	100.4	96.4	157.0	106.2	
47	106.5	70.1	121.9	471.4	193.0	123.8	106.9	109.0	214.3	120.4	
48	116.8	48.3	142.2	561.7	241.6	147.0	112.3	97.8	265.9	145.6	
49	114.3	41.0	109.8	598.7	248.0	145.4	94.5	93.5	248.8	130.1	
49.12	84.5	27.3	112.4	590.2	287.4	106.8	92.3	109.1	219.4	75.0	
50. 1	77.1	19.0	86.5	554.7	239.3	104.1	87.1	83.9	137.7	66.0	
2	82.7	22.8	97.2	431.1	235.2	97.5	78.7	97.0	127.0	77.1	
3	73.4	19.4	111.8	511.3	275.0	117.0	82.6	81.3	228.6	79.7	
4	71.1	18.9	107.8	570.0	249.1	127.4	85.4	81.5	236.5	80.7	
5	85.9	15.2	98.0	712.3	249.6	141.1	86.4	76.4	255.1	88.9	
6	82.5	18.0	112.3	468.4	198.3	155.6	95.9	82.2	297.6	76.9	
7	103.9	14.4	93.2	263.1	173.4	168.0	99.8	95.2	309.9	108.9	
8	76.1	12.0	115.1	572.3	256.6	182.5	77.8	97.8	273.1	109.1	
9	103.9	10.8	99.8	725.7	260.2	182.2	81.4	105.9	246.2	93.3	
10	93.1	17.7	118.1	691.5	244.3	217.3	89.7	99.2	245.0	84.1	
11	85.9	15.9	123.3	691.7	246.7	165.7	99.3	92.3	193.8	96.4	

資料：県統計課

金融

6 金融

茨城県

6-1 金融機関別実質預金・貸出残高

(単位：百万円)

年月末	総 額		銀 行		相 互 銀 行		信 用 金 庫	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
昭和45年12月	765,166	470,270	447,476	259,180	80,413	59,513	68,094	51,699
46	919,253	567,884	535,716	311,956	100,993	75,704	85,103	63,029
47	1,198,136	720,258	695,998	399,399	155,783	101,985	115,617	82,498
48	1,522,589	907,578	863,771	472,753	171,107	129,219	149,690	113,232
49	1,739,159	1,070,526	982,905	562,397	193,350	139,598	170,287	126,409
49. 12	1,739,159	1,070,526	982,905	562,397	193,350	139,598	170,287	126,409
50. 1	1,699,257	1,067,388	964,401	564,970	185,891	138,604	168,468	124,285
2	1,696,183	1,071,326	968,739	565,346	186,312	139,885	166,187	124,051
3	1,759,957	1,089,923	1,024,200	573,996	194,258	142,747	167,540	125,746
4	1,751,527	1,088,147	1,016,622	572,428	193,140	142,705	168,888	125,613
5	1,774,438	1,085,074	1,039,158	565,413	193,263	142,404	170,831	125,911
6	1,813,017	1,105,029	1,055,474	576,879	200,357	145,850	173,919	126,871
7	1,869,983	1,125,143	1,095,395	588,454	199,324	148,036	176,483	128,729
8	1,859,493	1,148,497	1,080,461	604,889	202,748	151,322	179,063	130,253
9	1,908,208	1,156,411	1,104,275	604,091	208,758	152,159	181,776	132,884
10	1,918,285	1,170,253	1,098,653	614,759	204,346	152,120	183,897	135,705
11	1,981,103	1,182,061	1,139,739	618,923	211,264	155,814	187,068	138,282

茨城県

年月末	信 用 組 合		農 協		漁 協		労 金 ・ 商 中	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
昭和45年12月	49,060	37,039	108,845	43,622	1,691	5,141	9,587	14,076
46	60,193	42,652	123,074	52,625	1,885	5,099	12,289	16,819
47	77,712	52,526	155,241	55,610	2,257	5,356	16,338	21,884
48	105,376	78,504	205,854	76,850	2,805	6,062	23,986	30,958
49	128,264	93,365	230,800	100,312	3,674	7,671	29,879	40,774
49. 12	128,264	93,365	230,800	100,312	3,674	7,671	29,879	40,774
50. 1	124,059	90,811	222,676	99,888	3,678	7,582	30,084	41,248
2	123,767	91,434	217,394	101,458	3,437	7,598	30,347	41,554
3	127,073	93,581	211,799	103,839	4,643	8,324	30,444	41,690
4	126,268	91,652	212,222	105,520	3,683	7,882	30,704	42,347
5	127,486	92,668	209,403	107,942	3,910	7,650	30,387	43,086
6	130,630	93,961	215,284	109,718	3,957	7,533	33,396	44,217
7	131,535	95,722	229,520	110,679	3,816	7,789	33,910	45,734
8	133,764	96,885	226,458	111,724	3,531	7,894	33,468	45,530
9	136,552	99,989	238,858	112,585	3,688	7,856	34,301	46,847
10	136,425	100,402	256,350	112,040	3,748	7,680	34,866	47,547
11	140,443	102,124	262,695	110,190	3,579	7,539	36,315	49,189

資料：日本銀行水戸事務所

7 電力

産業別電力消費量

(単位: MWH)

年度・月	総数	農林・水産 養殖業	鉱業	建設業	製造業	運輸 通信業	電気・ガス 水道業	その他 の産業
昭和45年度	2,568,618	3,534	150,777	57,100	2,150,671	123,498	49,207	27,885
46	3,668,300	4,542	87,836	54,841	3,269,997	129,165	71,279	50,641
47	4,252,572	6,427	65,802	49,083	3,722,605	145,488	94,977	86,454
48	3,682,864	6,264	54,695	46,124	3,266,680	135,770	86,909	86,422
49	3,149,395	5,755	49,734	34,524	2,717,440	140,085	98,370	103,487
50. 1	255,921	729	4,134	2,686	218,430	12,939	8,803	8,200
2	264,620	610	3,919	2,860	228,207	11,565	7,808	9,651
3	270,412	599	4,135	3,316	230,220	13,142	8,854	10,146
4	270,163	415	4,090	3,234	233,014	12,834	8,233	8,343
5	272,550	391	4,011	3,491	238,172	9,406	8,653	8,426
6	300,945	356	4,130	3,316	264,318	11,127	8,275	9,423
7	314,712	355	4,002	3,349	276,615	12,275	8,480	9,636
8	290,412	436	4,115	3,457	250,285	13,317	9,512	9,290
9	303,978	436	3,940	3,173	264,301	12,597	9,125	10,406
10	330,551	378	4,040	3,230	291,440	12,851	8,761	9,851
11	305,650	326	3,859	3,346	268,831	10,862	8,325	10,101
12	316,210	385	3,874	3,513	273,813	13,027	8,325	13,273

(注)数値は東京電力茨城支店の50KW以上の電力販売量である。なお、東電以外の自家発電は含まれない。
資料：東京電力茨城支店

8 運輸

鉄道貨物品種別輸送状況

(単位: 百トン)

茨城県

年度・月	総量	鉱産品	林産品	農産品	畜産品	水産品	金属機器 工業品	化学 工業品	食料 工業品	繊維 工業品	その他
昭和 45年度	65,711	30,829	1,182	4,327	11	1,015	4,482	19,089	715	974	3,087
46	56,953	21,805	1,007	4,754	12	1,039	4,365	19,637	652	734	1,161
47	50,461	17,994	740	4,272	9	1,303	3,821	18,698	635	495	2,547
48	47,392	14,295	724	3,446	1	1,494	4,702	19,070	576	646	2,438
49	42,384	13,447	659	2,808	2	1,306	4,223	16,963	556	451	1,971
50. 1	3,052	905	47	272	0	114	337	1,196	39	16	125
2	2,990	915	48	212	0	83	327	1,205	39	25	136
3	3,320	1,068	47	171	0	101	380	1,319	36	33	165
4	2,670	838	37	138	1	73	332	1,018	39	32	163
5	2,558	851	39	143	0	86	289	941	40	17	152
6	2,850	941	43	136	0	48	338	1,097	46	39	162
7	3,046	954	38	157	0	122	324	1,170	37	43	203
8	3,055	903	35	191	0	80	304	1,283	29	37	193
9	3,155	986	37	211	0	71	360	1,246	42	38	164
10	3,282	990	42	189	0	84	389	1,307	52	45	184
11	2,624	714	35	192	0	115	242	1,129	33	21	142
12	3,172	896	55	230	0	110	289	1,361	38	40	151

(注)数値は国鉄および民鉄の合計である。

資料：水戸鉄道管理局

家 計

9 家 計

9-1 家 計 主 要 指 標

(単位：円，%)

年 月	勤 勞 者 世 帯								全 世 帯		消費者
	実 収 入	(1) 可 処 分 所 得	消費支出	(2) 黒 字	貯 蓄 純 増	(3) 平均消 費性向	(4) 実 質 実 収 入 指 数	(4) 実 質 消費支 出 指 数	消費支出	(5) エンゲル 係 数	物 価 指 数
水 戸 市											
昭和45年	116,677	106,180	86,608	19,572	14,348	81.6	100.0	100.0	84,993	30.1	100.0
46	139,939	126,857	98,096	28,761	18,830	77.3	112.2	106.0	90,495	30.2	106.9
47	145,721	131,771	102,916	28,855	18,732	78.1	112.8	107.3	97,764	30.0	110.7
48	165,962	150,284	113,422	36,861	26,073	75.5	114.5	105.5	106,772	31.0	124.2
49	205,792	187,865	142,806	45,059	27,634	76.0	112.9	105.5	132,200	30.5	156.3
49. 11	176,253	161,757	145,510	16,247	7,778	90.0	91.7	102.0	131,470	30.3	164.7
12	523,081	478,395	233,688	244,707	179,362	48.8	269.9	162.4	197,854	28.6	166.1
50. 1	154,741	141,915	126,763	15,152	29,393	89.3	79.4	87.6	121,404	29.1	167.0
2	180,561	164,469	138,851	25,618	12,308	84.4	92.1	95.4	122,036	33.2	168.1
3	195,909	178,325	162,277	16,048	11,116	91.0	98.8	110.2	146,374	32.6	170.0
4	176,199	157,738	199,948	△42,210	△38,776	126.8	86.9	132.9	178,984	25.8	173.7
5	171,880	153,005	157,238	△4,233	△5,974	102.8	84.3	103.9	148,437	33.7	174.8
6	311,931	285,159	187,704	97,455	43,601	65.8	152.9	124.0	175,080	27.8	174.8
7	234,114	211,597	140,040	71,557	52,109	66.2	114.5	92.2	140,804	31.6	175.3
8	153,495	143,276	133,912	9,364	380	93.6	75.0	88.1	149,965	32.3	175.5
9	167,834	152,037	137,047	14,990	13,445	90.1	81.2	87.3	135,259	33.8	177.1
10	168,827	151,654	135,983	15,670	9,770	89.7	80.7	87.5	140,034	34.2	179.4
全 国											
昭和45年	112,949	103,634	82,582	21,052	13,480	79.7	100.0	100.0	79,531	34.1	100.0
46	124,562	114,309	91,285	23,023	15,515	79.9	104.0	104.1	87,475	33.3	106.1
47	138,580	126,697	99,346	27,351	18,440	78.4	110.6	108.5	96,026	32.7	110.9
48	165,860	150,935	116,992	33,943	23,121	77.5	118.5	114.4	112,116	31.9	123.9
49	205,792	187,825	142,203	45,622	30,211	75.7	118.2	111.7	136,024	32.6	154.2
49. 11	170,254	155,213	139,574	15,639	4,782	89.9	91.9	103.0	134,969	33.8	164.0
12	510,097	470,235	232,304	237,931	173,490	49.4	274.2	170.8	212,932	30.2	164.7
50. 1	168,943	153,324	139,055	14,268	23,197	90.7	90.4	101.8	136,913	28.6	165.5
2	171,733	156,139	134,662	21,477	7,056	86.2	91.6	98.3	130,321	33.1	166.0
3	198,190	180,483	168,317	12,166	3,638	93.3	104.7	121.6	160,513	30.9	167.6
4	190,025	171,150	156,346	14,804	383	91.4	98.2	110.5	149,932	31.8	171.3
5	186,682	166,917	153,345	13,572	3,549	91.9	95.8	107.6	147,824	34.2	172.5
6	311,902	285,118	167,782	117,336	85,365	58.8	160.2	117.9	156,420	31.5	172.4
7	285,724	260,752	176,969	83,783	63,059	67.9	146.4	124.0	165,180	30.9	172.8
8	214,223	195,506	166,350	29,156	14,041	85.1	110.0	116.8	158,805	33.8	172.4
9	189,900	172,943	149,809	23,135	6,439	86.6	95.7	103.3	143,539	33.9	175.6
10	191,828	174,560	159,667	14,892	793	91.5	95.1	108.3	153,062	33.5	178.5

(注) (1) 実収入 - 非消費支出 (2) 可処分所得 - 消費支出
 (3) 消費支出 ÷ 可処分所得 (4) 当該項目 (45年=100) ÷ 消費者物価指数
 (5) 食料費 ÷ 消費支出

資料：総理府統計局

家 計

9—2 1ヵ月1世帯当たりの収入と支出（勤労者世帯）

年 月	集 計 世帯数	世 帯 人 員	有 業 人 員	世帯主 の年齢	収 入 総 額	実 収 入				実収入以 外の収入	前月から の繰入金
						実 収 入	勤め先収入	事業・内 職 収 入	他 の 実収入		
昭和45年	73	3.86	1.38	41.2	172,987	116,677	108,261	2,699	5,716	23,252	33,059
46	66	3.90	1.51	44.0	206,439	139,939	129,334	2,741	7,864	29,884	36,616
47	64	3.69	1.35	43.0	217,040	145,721	137,427	2,558	5,736	29,493	41,826
48	64	3.88	1.43	41.0	244,967	165,962	155,138	4,905	5,920	28,511	50,493
49	60	3.95	1.45	41.1	315,154	205,792	189,991	5,437	10,364	47,771	61,592
49.11	62	3.81	1.39	39.5	283,030	176,253	151,969	5,856	18,428	45,510	61,267
12	63	4.00	1.40	39.4	651,134	523,081	507,177	6,559	9,346	67,136	60,916
50. 1	61	3.93	1.33	39.9	274,408	154,741	144,668	1,966	8,107	38,418	81,249
2	59	3.85	1.29	41.3	282,296	180,561	162,422	1,694	16,444	35,309	66,427
3	59	3.97	1.36	41.0	314,021	195,909	182,866	2,616	10,427	46,374	71,737
4	62	4.00	1.32	41.4	353,127	176,199	165,206	1,645	9,348	118,000	58,928
5	65	4.12	1.38	41.8	277,959	171,880	164,875	1,927	5,078	43,578	62,502
6	60	4.08	1.35	41.2	463,374	311,931	301,656	2,010	8,266	90,527	60,916
7	64	4.06	1.42	40.8	329,817	234,114	223,795	2,695	7,625	32,255	63,448
8	63	3.97	1.38	39.8	251,642	153,495	146,999	1,768	4,728	38,869	59,277
9	65	3.91	1.38	39.9	269,913	167,834	162,839	1,409	3,586	35,330	66,750
10	64	3.86	1.38	40.3	266,376	168,827	162,280	1,202	5,345	30,278	67,271

年 月	実支出	消 費 支 出						非消費 支 出	実支出 以外の 支 出	繰越金	現 物 総 額
		計	食料費	住居費	光熱費	被服費	雑 費				
昭和45年	97,105	86,608	25,014	9,258	3,190	10,385	38,761	10,497	42,794	33,088	5,477
46	111,178	98,096	27,343	10,222	3,384	11,507	45,640	13,082	57,179	38,081	7,328
47	116,866	102,916	28,935	11,310	3,503	12,070	47,098	13,950	56,782	43,392	7,438
48	129,101	113,422	32,701	9,770	3,738	13,254	53,959	15,679	62,709	53,157	9,233
49	160,734	142,806	41,585	12,951	5,073	15,942	67,255	17,927	89,385	65,036	8,101
49.11	160,006	145,510	39,814	12,607	5,335	17,053	70,700	14,497	57,232	65,792	4,867
12	278,374	233,688	60,021	32,891	8,065	26,959	105,751	44,686	269,529	103,230	15,290
50. 1	139,590	126,763	36,932	7,582	5,798	9,291	67,159	12,826	71,646	63,173	9,977
2	154,943	138,851	42,937	12,183	8,826	12,022	62,884	16,092	55,409	71,945	4,692
3	179,861	162,277	50,920	10,989	7,993	18,802	73,572	17,585	64,811	69,349	5,809
4	218,409	199,948	47,671	17,503	7,139	12,606	115,029	18,461	75,282	59,436	6,128
5	176,113	157,238	51,276	11,266	6,638	15,294	72,765	18,875	44,414	57,432	7,505
6	214,476	187,704	48,083	24,572	5,434	18,070	91,544	26,773	176,484	72,414	6,293
7	162,557	140,040	44,757	10,683	5,197	16,294	63,110	22,517	100,991	66,268	11,207
8	144,132	133,912	46,758	11,323	4,531	8,767	62,533	10,220	44,712	62,798	7,499
9	152,844	137,047	45,058	11,144	4,982	14,339	61,524	15,797	52,912	64,157	6,108
10	153,156	135,983	46,912	9,813	5,687	15,984	57,588	17,173	45,432	67,788	5,737

(注) 集計世帯数，世帯人員，有業人員，世帯主年齢は支出にも該当する。

資料：総理府統計局

物 価

10 物 価

物 価 指 数

水 戸 市

年 月	消 費 者 物 価 指 数 (昭和45年=100)								
	総 合	対前月 上昇率	対前年(同月) 上昇率	食 料	住 居	光 熱	被 服	雑 費	
昭和46年	106.9	—	6.9	107.0	106.4	104.3	109.2	106.2	
47	110.7	—	3.6	108.7	111.5	105.5	116.8	110.9	
48	124.2	—	12.2	123.1	120.1	108.5	142.8	121.2	
49	156.3	—	25.8	161.4	156.4	142.0	179.3	142.2	
50	174.6	—	11.7	182.5	171.3	165.5	184.9	163.2	
50. 1	167.0	0.5	17.0	174.0	165.4	157.6	181.7	154.1	
2	168.1	0.7	13.0	175.8	166.5	165.0	181.5	154.2	
3	170.0	1.1	13.3	181.0	167.2	165.0	178.6	154.9	
4	173.7	2.2	12.9	182.3	170.3	165.0	176.7	164.4	
5	174.8	0.6	14.4	183.4	171.7	165.0	179.6	164.8	
6	174.8	0.0	13.3	181.8	172.2	164.7	182.9	165.0	
7	175.3	0.3	10.4	181.8	172.4	165.0	185.1	165.6	
8	175.5	0.1	9.8	181.6	172.1	166.1	186.6	165.9	
9	177.1	0.9	10.4	185.0	172.6	167.1	187.0	166.2	
10	179.4	1.3	9.6	188.5	175.7	167.6	190.3	166.9	
11	179.2	△0.1	8.8	186.6	175.3	167.8	192.5	167.3	
12	180.6	0.8	8.7	187.6	174.7	169.7	196.3	169.0	

資料：県統計課

全 国

年 月	消 費 者 物 価 指 数 (昭和45年=100)					農 産 物 物 価 指 数 (昭和45年 度=100)	卸 売 物 価 指 数 (昭和45年=100)	戦 前 基 準 指 数 (昭和9~11年平均=100)	
	全 国 総 合	対前月 上昇率	対前年 (同月) 上昇率	人口5万人 以上の都市	東京都区部			消 費 者 物 価 指 数 (東京都区部)	卸 売 物 価 指 数
昭和46年	106.1	—	6.1	106.2	106.3	101.7	99.2	614.3	396.7
47	110.9	—	4.5	111.0	111.4	107.4	100.0	643.8	399.9
48	123.9	—	11.7	124.1	124.5	132.3	115.9	719.5	463.3
49	154.2	—	24.5	154.1	152.7	160.2	152.2	882.4	608.7
50	172.4	—	11.8	172.5	171.1	...	156.8	988.8	626.8
50. 1	165.5	0.5	17.4	165.4	163.4	165.6	156.7	944.3	626.6
2	166.0	0.3	13.9	165.9	164.0	172.2	155.9	947.7	623.4
3	167.6	1.0	14.2	167.6	165.7	170.6	155.6	957.6	622.2
4	171.3	2.2	13.6	171.3	169.8	172.5	155.9	981.3	623.4
5	172.5	0.7	14.1	172.6	171.6	175.5	155.9	991.7	623.4
6	172.4	△0.1	13.4	172.5	171.6	166.4	155.7	991.7	622.6
7	172.8	0.2	11.4	172.8	171.9	163.5	155.9	993.4	623.4
8	172.4	△0.2	10.0	172.5	171.2	169.7	156.8	989.3	627.0
9	175.6	1.9	10.3	175.6	174.6	175.0	157.3	1,009.0	629.0
10	178.5	1.7	9.6	178.6	177.4	189.1	157.9	1,025.2	631.4
11	177.3	△0.7	8.1	177.4	176.4	186.9	158.3	1,019.4	633.0
12	177.2	△0.1	7.6	177.2	176.1	190.9	159.2	1,017.7	636.6

資料：総理府統計局 農林省統計調査部 日本銀行統計局

II 交 通 事 故

交 通 事 故 発 生 件 数

(単位：人，件)

茨 城 県

年 月	死 傷 者 数			第 一 当 事 者 別 発 生 件 数						
	総 数	死 者	負 傷 者	総 数	乗用車	貨物車	二輪車	特 殊 用 途 車	歩行者	その他
昭和46年	21,381	633	20,748	14,924	7,141	5,164	2,253	69	33	264
47	21,248	586	20,662	14,952	7,639	4,973	1,997	59	33	251
48	19,806	573	19,233	14,010	7,464	4,498	1,756	64	34	194
49	16,594	480	16,114	11,850	6,612	3,646	1,373	39	22	158
50	15,918	425	15,493	11,515
50. 1	11,216	21	11,195	860
2	11,033	27	11,006	784
3	11,364	43	11,321	1,007
4	11,298	30	11,268	944
5	11,372	40	11,332	961
6	11,250	41	11,209	924
7	11,382	27	11,355	1,000
8	11,636	37	11,599	1,108
9	11,234	36	11,198	907
10	1,468	47	1,421	1,064
11	1,367	49	1,318	991
12	11,298	27	11,271	965
51. 1	1,141	39	1,102	824

(注) 第一当事者とは事故の際過失の大きなものをさし、また過失が同程度の場合は、けがの少ないものをさす。資料：県警察本部交通企画課

12 火 災

火 災 の 発 生 件 数 と 損 害 状 況

(単位：件，棟，㎡，千円，世帯，人)

茨 城 県

年 月	火 災 発 生 件 数	焼 損 棟 数	焼 損 面 積	損 害 額	り 災 世 帯 数			り 災 人 員	死 者	負 傷 者
					全 損	半 損	小 損			
昭和46年	806	1,151	60,428	1,581,120	340	61	300	2,718	35	140
47	778	1,039	55,645	2,001,837	279	48	299	2,404	39	133
48	1,792	1,266	76,918	3,999,895	369	53	306	2,832	36	142
49	1,596	1,066	51,568	2,380,994	301	55	285	2,416	35	132
50	1,586	1,023	45,969	1,817,513	268	52	298	2,227	41	208
50. 1	174	102	4,045	153,979	30	6	38	243	5	13
2	199	123	6,027	270,655	31	8	35	256	8	12
3	271	126	4,605	191,641	42	8	29	275	5	16
4	225	112	4,416	198,903	34	6	26	241	1	12
5	83	62	3,038	128,775	15	3	15	126	1	15
6	56	54	1,918	122,621	13	3	14	103	6	10
7	75	62	2,946	117,266	18	3	15	158	2	2
8	119	79	2,850	90,371	19	4	31	228	4	18
9	101	65	2,929	18,620	15	3	20	131	2	12
10	78	84	5,607	229,290	19	1	25	152	1	6
11	61	64	3,937	103,588	11	4	17	114	0	10
12	144	90	3,651	191,804	21	3	33	200	6	82

資料：県消防防災課

新 着 資 料 案 内

下記の資料は、1月中に行政資料室に到着した主なものです。このほか、年鑑・年報・月報・各種計画書・報

告書・法令・教養・参考書・雑誌など数多くきておりますので御利用下さい。

行政資料名	内容年	規格		発行所(者)
		判	頁	
中央官公庁関係				
昭和50年 労働調査特別調査報告	50	B5	88	総理府 統計局
全国都道府市区町村別人口概数	"	"	105	"
昭和50年 法人企業動向調査報告	"	"	46	経企庁 調査局
昭和49年度 法人企業投資実績調査	49	"	56	"
昭和47年度 農家の形態別にみた農家経済	47	"	259	農林省 統計情報部
昭和48年度	48	"	225	"
" 農家生計費統計	"	"	127	"
" 農家賃金動態統計	"	"	228	"
" 農家経済調査報告	"	"	408	"
" 第5次漁業センサス 第7報	"	"	471	"
" " 第12報	"	"	243	"
昭和49年度 農家経済調査報告	49	"	386	"
毎月勤労統計調査50年史	T.12~ S.48	"	340	労働省 統計情報部
昭和49年 賃金構造基本統計調査報告 第1巻	49	"	319	"
" " 第2巻	"	"	361	"
" " 第3巻	"	"	121	"
" " 第4巻	"	"	318	"
" " 第5巻	"	"	270	"
" 郵政統計年報(総括編)	"	"	324	郵政省 経理局
" " (為替・貯金編)	"	"	406	" 貯金局
" " (保険・年金編)	"	"	281	" 簡易保険局
昭和48年度 旅客地域流動調査	48	A4	54	運輸省 情報管理部
" 貨物 "	"	"	699	"
昭和50年度 運輸経済年次報告	50	A5	494	"
昭和47年 伝染病および食中毒統計	47	B5	137	厚生省 統計調査部
昭和48年	48	"	145	"
昭和47年 厚生行政基礎調査報告	47	"	263	"
昭和48年	48	"	196	"
昭和47年 人口動態統計 上巻	47	"	703	"
" " 下巻	"	"	655	"
昭和48年 人口動態統計 上巻	48	"	679	"
" " 下巻	"	"	655	"

行政資料名	内容年	規格		発行所(者)
		判	頁	
昭和48年 保健所運営報告	48	B5	140	厚生省 統計調査部
〃 患者調査	〃	〃	301	〃
〃 医療施設調査病院報告	〃	〃	256	〃
〃 医師・歯科医師・薬剤師調査	〃	〃	80	〃
茨城県関係				
昭和49年度 市町村公営企業財政実態資料	49	B5	181	地方課
〃 茨城県税務統計書	〃	〃	166	税務課
〃 茨城県蚕業試験場年報	〃	〃	53	茨城県蚕業試験場
〃 逐次刊行物総合目録	〃	〃	113	茨城県立図書館
県内市町村関係				
'75 町勢要覧 小川	49	A4	20	小川町役場
都道府県関係				
昭和48年 青森県統計年鑑	48	B5	326	青森県 統計課
昭和49年 毎月勤労統計地方調査年報	49	〃	50	秋田県 〃
〃 商業統計調査報告	〃	A4	261	東京都 統計部
〃 工業統計調査結果報告	〃	B5	274	神奈川県統計調査課
昭和50年刊行 山梨県統計年鑑	48	〃	278	山梨県 統計課
昭和49年 毎月勤労統計地方調査年報	49	〃	73	愛知県 〃
〃 商業統計調査結果表	〃	〃	170	大阪府 〃
大阪府の小売市場のすがた	〃	〃	83	〃
昭和48年度 広島県所得推計結果報告	48	〃	141	広島県 〃
〃 県民所得推計結果報告書	〃	〃	96	佐賀県 統計調査課
会社・団体等関係				
横浜経済統計年報	49	B5	159	横浜商工会議所

統計ニュース

— 3月の主な行事 —

- 1日～7日 こづかい調査
- 5日 統計刊行物研究会(東京都)
- 9日～10日 統計実務講習会(東京都)
- 18日～19日 県民所得講習会(東京都)
- 29日 県民所得(速報)公表